

ICCO

文化をつなぎ、コミュニティを創り、グローバルに活躍する能力と視野を身につけて文化交流創成コーディネーター資格を取得しよう！

文化交流創成コーディネーター (Intercultural Coordinator) 資格とは

あらゆる分野でグローバル化が進むなか、多様な文化をつなぎ、新たな文化の創成を促し社会に貢献する実践者の役割が期待されています。地域と地域、地域と世界、さらには過去と現在と未来を結び、そこに存在する様々な課題の把握と解決および可能性の発見に取り組むのが、文化交流創成コーディネーターです。この資格を取得するプロセスを経験することで、出会いと交流と協働に基づくインターカルチュラルというダイナミックな実践能力を身につけることができます。

文化の枠を超えて活躍できる人材に必要な知識と実践力を修得していることを認定する資格です。

Stage1：各大学の登録科目（カリキュラム・フレーム）

- 基礎科目：国際文化学概論、国際関係論、比較文化論、日本文化論、文化人類学等
 - 専門科目：国際協力論、欧米文化論、文化とジェンダー、比較文化論等の講義
 - 間文学活動／フィールドワーク科目：国内外での実習、関連フィールドワーク、ボランティア実習等
- ※ 基礎(2科目・4単位)＋専門(4科目・8単位)＋フィールドワーク(2科目・4単位)
＝合計8科目・16単位を取得する。参加大学の登録科目一覧表は学会ホームページを参照。

Stage 2：短期集中セミナーに参加し 報告書を提出

- 研修の内容：企画・調査のグループワーク、
地域社会と連携したワークショップ等
- 開催時期：2016年9月4日(日)～10日(土)
- 場 所：龍谷大学ともいき荘(京都市)

Stage 3：ICCOに申請し認定。 活躍の場は

- ★ 国内外の企業や文化・教育交流事業活動
- ★ トラベルプランナー・エージェンツ
- ★ ボランティアや地域活性活動
- ★ 自治体・財団・NPO/NGO など

ICCO申請方法：日本国際文化学会ホームページからダウンロードしてください。 <http://www.jsics.org/>

申請期間：2017年3月30日必着(2016年9月の短期集中セミナー参加後の申請となります)

提出書類：所定の資格認定申請書(審査手数料納付書の写しを貼付)、所属大学発行の成績証明書、学習活動報告書とその添付書類、これらすべてをセットにして、オリジナル1部およびコピー4部の計5部を提出。
申請及び送付先等の詳細は学会ホームページを参照。

審査手数料：5,000円

ICCOに関する
お問い合わせ

日本国際文化学会 文化交流創成コーディネーター(ICCO)資格制度運営事務局
龍谷大学松居研究室 E-mail : rmatsui@world.ryukoku.ac.jp

● 学会全体の連絡先／日本国際文化学会事務局 E-mail : jsics@yamaguchi-pu.ac.jp 083-928-3423

GET!

ICCO

Intercultural Coordinator

2016年度短期集中セミナー参加者の募集

「京都で文化を交流×創成する」

文化交流創成コーディネーター認定のStage 2にあたる研修で、
京都をテーマに文化を観る目をぶつけ合い、新たな視点を生み出します。

- 期 間: 2016年9月4日(日)~10日(土)
- 会場・宿泊先: 龍谷大学ともいき荘(京都市)
<http://www.ryukoku.ac.jp/tomoikiso/>
- 参加費用: 3万6000円(宿泊費、朝食、夕食、保険料込)
* 会場までの交通費、京都市内等でのフィールドワークに
かかる交通費等は含みません。
- 募集人数: 30名

- 応募期間: 2016年5月1日(日)~6月30日(木)
- 応募書類: 参加申込書(プロジェクト企画含む)
* プロジェクト企画により選考があります。
- 参加費用: 参加費の振込先は、選考結果とともに
お知らせします。

日 程

第1日目	14:00	現地集合、オリエンテーション
	16:00 - 17:00	講義「国際文化学と文化交流創成コーディネーター」
	18:00	交流会
第2日目	9:00 - 15:00	各グループでのプロジェクトテーマ決定
	15:00 - 18:00	テーマの説明と検討
第3日目	9:00 - 17:00	フィールドワーク1
第4日目	9:00 - 17:00	フィールドワーク2
第5日目	9:00 - 17:00	フィールドワーク3
第6日目	9:00 - 17:00	フィールドワークのまとめ、成果発表準備
第7日目	9:00 - 16:00	成果発表、フィードバック、まとめ (16:30頃解散予定)